

# 環境政策課

## 1 環境保全審議会運営事業

予算科目（款・項・目）20・05・15  
〔決算書251ページ〕

調布市環境基本条例第22条の規定により設置。市の環境保全等に関する施策を総合的かつ計画的に推進するうえで、必要な事項を調査審議するもの

- (1) 委員構成等 市民（5人），事業者（2人），学識経験者（4人），行政機関職員（2人）  
をもって組織 男8人，女5人
- (2) 審議会開催 3回

回	開催日	内容
第1回	令和2年 8月24日	1 令和2年度環境部各課主要事業について（報告） 2 令和元年度環境部所管業務の実績報告について（報告）
第2回	令和2年 12月21日	1 調布駅前広場・鉄道敷地の整備について（報告） 2 調布市環境基本計画（改定版）の素案について（報告） 3 調布市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の素案について（報告） 4 調布市緑の基本計画の素案について（報告） 5 （仮称）調布市下水道ビジョンの素案について（報告）
第3回	令和3年 2月22日	1 調布市環境基本計画の改定について（報告） 2 調布市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の策定について（報告） 3 第4次調布市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）の策定について（報告） 4 調布市緑の基本計画の策定について（報告） 5 （仮称）調布市下水道ビジョンの策定について（報告） 6 調布市深大寺・佐須地域農業公園の検討状況について（報告） 7 みんなの森特別緑地保全地区・保全管理計画の検討状況について（報告）

## 2 環境基本計画推進事業

予算科目（款・項・目）20・05・15 〔決算書251ページ〕

環境基本計画に基づく事業を推進及び計画の見直しをするもの

- (1) 「未来へつなぐ調布の環境～令和元年度環境年次報告書～」の発行  
平成28年3月に策定した環境基本計画で定めた環境指標等に対する進捗状況及び調布市をとりまく環境等に係るデータを報告するもの  
調布市ホームページでも公開した。
- (2) 環境基本計画の改定及び地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の策定  
環境基本計画等改定委員会の開催等により、環境基本計画の改定及び地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の策定を行った。
- ア 環境基本計画等改定委員会  
環境基本計画の改定及び地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の策定を行うため、学識経験者等で構成される環境基本計画等改定委員会を立ち上げ、計画内容の検討を行った。
- (ア) 委員構成等  
市民団体（2人），事業者（3人），学識経験者（3人），東京都関係機関（1人），教育委員会（1人），行政（1人）をもって組織 男7人，女4人

(イ) 改定委員会の開催 5回

開催回数	開催日	内容
第1回	令和2年 7月6日	1 調布市環境基本計画の改定（中間見直し）について 2 調布市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の改定について
第2回	令和2年 8月7日	1 第1回委員会における議論の振り返り 2 調布市環境基本計画改定（中間見直し）について
第3回	令和2年 10月21日	1 前回までの振り返りと本日の議論内容について 2 温暖化関連施策に関する意見と調布市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）（たたき台）について 3 調布市環境基本計画基本目標4に係る温暖化関連施策について
第4回	令和2年 12月18日	1 スケジュールについて 2 調布市環境基本計画（改定版）（素案）について 3 調布市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）（素案）について
第5回	令和3年 3月26日	1 2050年二酸化炭素排出実質ゼロ表明について 2 調布市環境基本計画（改定版）（案）について 3 調布市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）（案）について

イ 市民ワークショップ等の開催

計画改定・策定に当たり、市民参加手順ガイドラインに基づく市民参加手順の一環として、多様な市民の意見を広く聴取し課題解決等に向けた施策へ生かしていくため、ちょうふ環境市民会議の協力を得て開催した。

(ア) メール等でのアイデア募集

市ホームページに「里山環境の保全」「ストップ地球温暖化！新しいライフスタイル」「環境保全活動の体験」をテーマとした検討用資料を掲載し、課題解決のためのアイデアを募集した。

- a 募集期間 令和2年10月5日から同月22日まで
- b 意見数 6人 47件

(イ) 対面型ワークショップの開催

「里山環境の保全」「ストップ地球温暖化！新しいライフスタイル」「環境保全活動の体験」のテーマごとのグループにおいて課題解決のためのアイデア出しを行い、一押しアイデアを決定した後に、市民・事業者・市がアイデアを実現するためにできることをまとめた。

- a 開催日 令和2年10月24日
- b 開催場所 教育会館2階会議室
- c 参加者数 23人

(ウ) オンライン座談会の開催

オンライン会議システムのZoomを使用し、ゲストスピーカーも交え、多様な人々と「ストップ地球温暖化！新しいライフスタイル」をテーマとした意見交換を実施した。

- a ゲストスピーカー 調布まちなか発電株式会社 小峯 充史氏
- b 開催日 令和2年10月30日
- c 参加者数 9人

ウ 環境基本計画（素案）及び地球温暖化対策実行計画（区域施策編）（素案）に対するパブリック・コメントの実施

市民参加手法の一つとして、広く市民の意見を聴取するため、調布市パブリック・コメン

ト 手続条例に基づき、パブリック・コメントを実施した。

(ア) 意見受付期間

令和3年1月20日から2月18日まで

(イ) 意見提出者数及び意見件数

a 環境基本計画 8人 40件

b 地球温暖化対策実行計画（区域施策編） 7人 25件

エ 環境基本計画等改定ニュースレターの発行

環境基本計画等改定に向けた検討状況や、市民ワークショップでの意見等を周知するため3回発行した。

オ 環境調整協議会の開催

市の環境保全等に関する施策を円滑に推進するため、庁内各部の次長を対象とした環境調整協議会を開催した。

開催回数	開催日	内容
第1回	令和2年7月27日	1 調布市環境基本計画の改定及び調布市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の策定について 2 調布市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）の策定について 3 （仮称）調布市深大寺・佐須地域農業公園の整備について 4 公共工事環境配慮指針に係る報告について

カ 環境調整協議会 環境基本計画推進部会の開催

環境基本計画の改定及び地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の策定に向け、庁内関係各課長を対象とした環境調整協議会 環境基本計画推進部会を開催した。

開催回数	開催日	内容
第1回	令和2年12月15日	1 調布市環境基本計画の改定について 2 調布市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の策定について

(3) 環境講座の開催

環境に対する市民の興味・関心を高めてもらうことを目的として、ちょうふ環境市民会議と協働で『環境講座2020～自然のチカラで電気をつくろう～』を開催した。

ア 開催内容

親子を対象とした風力・水力発電装置の工作と体験、「移動式えねこや」の見学、エネルギー使用量や断熱壁・窓の温度体験等

イ 開催回数

2回

ウ 延べ参加人数

44人

3 環境情報システム事業 予算科目（款・項・目）20・05・15〔決算書251ページ〕

エネルギーの使用等に係る実績管理をシステムで行うもの

システム管理内容

事業名	内容
エネルギーの使用の合理化等に関する法律に関連する省エネ制度	前年度実績を集計し、国に中長期計画書と定期報告書を提出
都民の健康と安全を確保する環境に関する条例に関連する自動車環境管理計画制度	前年度実績を集計し、東京都に報告書を提出

地球温暖化対策実行計画（事務事業編）の進行管理	前年度実績を集計し、実績値を公表
-------------------------	------------------

4 駅前公衆便所維持管理事業

予算科目（款・項・目）20・05・15  
〔決算書251ページ〕

公衆の利便に供するため設置した公衆便所の環境衛生の維持及び向上を図るもの  
公衆便所清掃管理事業

名称	清掃日数(日)	清掃回数(回)	備考
調布市多摩川さくら緑地公衆トイレ	260	260	
調布市つつじヶ丘駅北公衆トイレ	261	261	
調布市京王多摩川駅南公衆トイレ	260	260	
調布市深大寺前公衆トイレ	184 (毎週日・月曜日と指定した日)	184	左記のほか「深大寺地域自然環境保全の会」が偶数週の水曜日及び毎週金曜日に清掃
調布市布多天神南公衆トイレ	157 (週3回)	157	左記のほか「布多天神社地域自然環境保全の会」が催事開催日等に清掃
調布市飛田給駅北公衆トイレ	365	375	味の素スタジアムで10,000人以上規模の催事開催日に1日2回清掃含む
調布市駅前広場暫定公衆トイレ	365	365	1日1回清掃

5 飼い主のいない猫の不妊去勢手術補助金事業

予算科目（款・項・目）20・05・15  
〔決算書251ページ〕

飼い主のいない猫の繁殖を抑制するため、猫の不妊・去勢手術に要する費用を補助するもの  
補助額（上限額） 雄5,000円 雌10,000円

- (1) 補助件数 雄64匹 雌70匹 合計134匹
- (2) 補助人数 87人
- (3) 補助総額 1,000,900円※

※ 補助額の上限額未満の申請があったため、上限額に補助件数を乗じた額とは一致しない。

- (4) 地域猫についての講演会

新型コロナウイルス感染症対策のため、調布市公式YouTube等を利用しオンラインで開催した。また、講演内容を収録したDVDを作成し、希望者に貸与した。

ア 動画配信・DVD貸出期間 令和3年2月1日から同年3月19日まで

イ 講師 亀山 嘉代氏（特定非営利活動法人ねりまねこ副理事長）

6 カラスの巣等撤去事業

予算科目（款・項・目）20・05・15

※ 決算額がなく決算書への記載がないため、決算書ページの記載なし

市民の安全な生活環境を守るため、カラスの巣及びスズメバチの巣の撤去を行うもの

- (1) カラスの巣撤去件数（戸建住宅敷地内で、人に対して威嚇するカラスの巣を対象） 0件
- (2) スズメバチの巣撤去件数（初期のもので、戸建住宅のみを対象） 0件

7 地球温暖化対策事業 予算科目（款・項・目）20・05・15〔決算書251ページ〕

環境基本計画に基づく目的・目標を達成するために、地球温暖化対策を実施するもの

(1) 第3次地球温暖化対策実行計画（事務事業編）の進行管理

市が行う事務事業によって排出される温室効果ガスの削減に向けて、第3次地球温暖化対策実行計画（事務事業編）の進行管理を行った。

ア 目標 平成26年度の総排出量14,859t-CO<sub>2</sub>を基準として、令和2年度までに総排出量3.2%以上削減かつ「中長期的に見てエネルギー消費原単位年平均1%以上の低減」

イ 実績

区分	平成26年度 (基準値)	令和2年度 (平成26年度比)
実績 (t-CO <sub>2</sub> )	14,859	13,943(6.2%減)
参考実績 (t-CO <sub>2</sub> )	14,859	15,444(3.9%増)

※ 令和2年度実績は、「電気事業者別排出係数－令和元年度実績－R3.1.7公表」の排出係数を使用し、算定した。

※ 令和2年度参考実績は、「電気事業者別排出係数－平成25年度実績－H26.12.5公表」の排出係数を使用し、算定した。

(2) 特定温室効果ガス排出量の検証

都民の健康と安全を確保する環境に関する条例に基づく特定地球温暖化対策事業所について令和元年度特定温室効果ガス排出量の検証を実施した。

ア 特定地球温暖化対策事業所

文化会館たづくり，市庁舎，グリーンホール，総合福祉センター

イ 削減義務率

特定地球温暖化対策事業所における平成15年度から17年度までの期間での、平均温室効果ガス排出量（5,297t-CO<sub>2</sub>）を基準値とし、第二計画期間（平成27年度から令和元年度まで）の総排出量について、基準の5年度分数値の17%以上を削減する義務がある。

ウ 特定温室効果ガス排出量結果（令和元年度分）

4,128t-CO<sub>2</sub>（基準値比22.1%削減）

エ 第二計画期間における温室効果ガス排出量削減状況

第二計画期間の5年間における温室効果ガス排出削減状況は、基準値（5,297t-CO<sub>2</sub>）の5年分数値と比較し、22.7%の削減となり、目標削減義務（17%削減）を達成した。

(ア) 5,297t-CO<sub>2</sub>の5年度分数値 26,485t-CO<sub>2</sub>

(イ) 第二計画期間における排出目標 21,985t-CO<sub>2</sub>（(ア)の17%削減）

(ウ) 第二計画期間における排出結果 20,481t-CO<sub>2</sub>（(ア)の22.7%削減）

※ 第三計画期間（令和2年度から6年度まで）は27%の削減義務が課される。

(3) 壁面緑化事業

例年、夏季の日差しを遮るため、ゴーヤ・アサガオ等で建物の一部をカーテンのように覆って壁面緑化（グリーンカーテン）を施し、公共施設や家庭における省エネルギーの推進を図っているが、令和2年度は新型コロナウイルスの影響に伴い、公共施設における壁面緑化実施及

びゴーヤ等の苗配布を見合わせた。

(4) 公共施設の屋根貸しによる太陽光発電事業

再生可能エネルギーの普及・促進、停電時の電力確保、売電収益の一部を市や市域の環境施策等に活用するため、平成25年度から公共施設の屋根貸しによる太陽光発電事業を推進し、平成26年度から発電を開始した。

ア 太陽光発電設備設置施設 34施設

イ 事業期間 25年以内（設備の設置・撤去に係る期間を加えた期間（売電期間は20年））

ウ 太陽光発電設備容量 約925kW

エ 令和2年度総発電量 983,816kWh

オ 市や市域への還元事業

(ア) エネルギーセミナー（オンライン）の開催 1回

(イ) 太陽光発電設備見学会の実施 0回※

(ウ) ソーラーランタン工作教室の開催 0回※

※ 新型コロナウイルスの影響に伴い一部中止

(5) 第4次地球温暖化対策実行計画（事務事業編）の策定

地球温暖化対策推進法第21条第1項の規定に基づき、地方公共団体に策定が義務付けられている、市の事務事業に伴う温室効果ガスの排出量の削減等に向けた計画。現行の第3次地球温暖化対策実行計画（事務事業編）の計画期間が令和2年度に終了するため、計画策定を行った。

ア 環境調整協議会 地球温暖化対策推進部会の開催

地球温暖化対策実行計画（事務事業編）の策定等に向け、庁内関係各課長を対象とした環境調整協議会 地球温暖化対策推進部会を開催した。

開催回数	開催日	内容
第1回	令和2年 12月15日	1 第4次調布市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）の素案 たたき台について 2 電力調達の環境配慮方針について

(6) C H O F Uプラスチック・スマートアクションの取組

地球環境問題となっている海洋プラスチックごみについて、国や東京都の取組と連携強化を図り、プラスチックごみの減量やプラスチックごみの海洋流出防止に取り組むもの

ア アクション1：市としての率先行動の促進（市庁舎での取組）

イ アクション2：市民・事業者等との協働による取組

ウ アクション3：東京2020大会を契機とした取組とその他の取組

8 都市美化推進事業 予算科目（款・項・目）20・05・15〔決算書251ページ〕

都市美化の推進を図るため、空き缶、吸い殻等の清掃活動、普及啓発等を行うもの

(1) 秋の多摩川クリーン作戦

ア 実施日 令和2年11月8日

イ 参加団体数及び参加人数 31団体 810人

※ 春の多摩川クリーン作戦は、新型コロナウイルスの影響に伴い中止

(2) 野川クリーン作戦（第六中学校地域教育懇談会と共催）

ア 実施日 令和2年11月21日

イ 参加団体数及び参加人数 10団体 52人

※ 野川下流部の主催者である第六中学校地域教育懇談会が、新型コロナウイルスの影響に

に伴い清掃活動を中止したことから、市が主催の野川上流部を中心に実施した。

(3) 調布駅前クリーン作戦

- ア 実施日 令和2年10月16日
- イ 参加団体及び参加人数 29団体 202人

(4) 飛田給駅前クリーン作戦

- ア 実施日 令和2年10月14日
- イ 参加団体及び参加人数 5団体 41人

(5) 喫煙マナーアップ・受動喫煙防止キャンペーン

- ア 期間 令和2年11月13日から同月19日までの平日5日間
- イ 実施場所 市内京王線全駅周辺（9駅）
- ウ 延べ参加人数 市民及び事業者146人（ほか市職員40人）
- エ 開会式参加人数 市民及び事業者46人（ほか市職員15人）

(6) 喫煙マナー，路上喫煙対策

ア 喫煙マナーの啓発等

市内京王線各駅周辺において、喫煙マナーの啓発用プレート、ステッカーの状況確認を行うとともに、希望する市民等に啓発用プレートを配布した。加えて、路上等喫煙禁止区域内であることを表示するための掲示、路面ステッカー等の設置を実施した。

イ 路上等喫煙禁止区域パトロール

令和元年9月から、主に路上等喫煙禁止区域内において、区域内であることの周知、指導を行うとともに、周知用看板、横断幕等の維持管理を行うため、業務委託によりパトロールを実施した。

(7) 駅周辺マナーアップ清掃

ア 京王多摩川駅周辺 6回実施

- (ア) 延べ参加人数 市民及び事業者 85人（ほか市職員12人）
- (イ) 清掃時に収集した吸い殻本数 3,692本

イ 仙川駅周辺 6回実施

- (ア) 延べ参加人数 市民及び事業者 66人（ほか市職員14人）
- (イ) 清掃時に収集した吸い殻本数 2,109本

(8) 地域団体等の自主的な地域清掃の支援

自主的な清掃活動を実施した。延べ43の自治会などの地域団体に対し、ゴミ袋の提供及び清掃用具の貸出しを行った。

9 環境フェア事業

予算科目（款・項・目）20・05・15

※ 決算額がなく決算書への記載がないため、決算書ページの記載なし

市民、事業所及び行政の協働により、来場者に対し環境問題に関する意識の啓発を図るもの

- (1) 出展者 市民団体・企業・市
- (2) 実施日 令和2年6月6日 午前10時から午後3時まで
- (3) 会場 調布市役所前庭
- (4) 内容 環境保全活動などのパネル展示及び各種催し

※ 新型コロナウイルスの影響に伴い中止

調布市環境基本計画に基づき、パートナーシップと市民参加による環境学習の場の提供と支援を行うもの

## (1) 環境学習支援事業

支援先	支援内容等
入間・樹林の会	人材派遣 1回

## (2) 環境モニター事業

自然観察による植物種等の調査 ※6回 延べ参加人数54人

※ 新型コロナウイルスの影響に伴い第6回バスツアーは中止

## (3) 調布水辺の楽校事業

※ 新型コロナウイルスの影響に伴い中止

## (4) 環境情報通信作成事業

ア 「ちょうふ環境にゆ〜す」第41〜43号

イ 「みらいへつなごう〜ちょうふのかんきょう〜」(小・中学生向け)

## (5) こどもエコクラブ事業

ア 調布こどもエコクラブ事業 ※6回 延べ参加人数162人

イ 名簿登録 小・中学生59人

※ 新型コロナウイルスの影響に伴い第7回バスツアー及び第8回スズメバチの生態は中止

## (6) 雑木林ボランティア講座事業

ア 講座及び体験活動 5回

イ 延べ受講者数 36人

※ 新型コロナウイルスの影響に伴い市内樹林地見学バスツアーは中止

ウ 環境活動ボランティア人材登録者 3人(受講者の21%)

## (7) ちょうふ環境市民会議運営事業

ア 調布市環境保全団体の活動紹介展

※ 新型コロナウイルスの影響に伴い中止

イ 講演会「嫌われ者だけど君が好き 〜すばらしき生物多様性〜」

(ア) 実施日 令和2年8月15日

(イ) 実施場所 文化会館たづくり8階 映像シアター

(ウ) 参加人数 5人

(エ) 講師 石川 和宏氏(ELFIN)

磯邊 隆氏(野川の学校代表)

司会 井口 中氏(水辺の楽校代表)

(オ) 講演内容を10月に動画配信

ウ 交流カフェ

※ 新型コロナウイルスの影響に伴い中止

## (8) 都立農業高校神代農場活用事業

※ 新型コロナウイルスの影響に伴い自然環境教室は中止



深大寺・佐須地域の自然環境の保全・活用を推進するため、各種事業を実施するもの

(1) 深大寺・佐須地域環境資源保全・活用基本計画の推進

計画に基づき、都市農地と国分寺崖線の緑の里山風景を保全するため、調布市土地開発公社により先行取得した調布市深大寺南町二丁目1番地先、一丁目3番地先の一部の土地を、教育委員会や環境市民団体・NPO法人与連携し、環境保全意識の啓発のため暫定利用した。

ア 環境市民団体及びNPO法人による対象地域の保全、水田及び畑の耕作を実施した。

(ア) 実施団体 ちょうふ環境市民会議，NPO法人東京めぐり

(イ) 参加人数 延べ1,051人

(ウ) 活動日数 延べ329日

イ 環境市民団体及びNPO法人による環境学習事業

柏野小学校の児童等の環境教育の一環として、作物栽培を通じた環境学習を実施した。

(ア) 実施団体 ちょうふ環境市民会議，NPO法人東京めぐり

(イ) 参加人数 延べ942人

(2) 佐須農<sup>みのり</sup>の家貸出事業

深大寺・佐須地域などの雑木林、水田等で形成される里山の環境を、市民等が維持していくことを目的とした活動及び里山等の歴史や文化を広める活動を支援する施設である「佐須農<sup>みのり</sup>の家」の貸出事業を実施した。

※ 令和2年度については、新型コロナウイルスの影響に伴い令和2年5月31日まで臨時休館、令和3年1月8日から同年3月21日まで夜間貸出し休止

ア 貸出件数 35件

イ 貸出人数 延べ217人

(3) 環境調整協議会 深大寺・佐須地域環境保全等推進部会の開催

深大寺・佐須地域の環境資源の保全・活用に向け、庁内関係各課長を対象とした環境調整協議会 深大寺・佐須地域環境保全等推進部会を開催した。

開催回数	開催日	内容
第1回	令和2年 8月26日	1 深大寺・佐須地域農業公園の整備について 2 都市農地の保全・活用に係る東京都の支援制度について 3 農業公園の整備・運用事例について

12 多摩川自然情報館運営事業

予算科目(款・項・目) 20・05・15

[決算書253ページ]

多摩川を中心とした自然環境を学べる展示室や学習室を備えた環境学習施設として展示や各種イベントを開催するもの

※ 令和2年度については新型コロナウイルスの影響に伴い令和2年5月31日まで臨時休館

(1) 入館者数及び学習室貸出状況

学習室貸出件数	学習室貸出人数	入館者数(学習室貸出人数を含む。)
0件	延べ0人	延べ4,050人

(2) ボランティア解説員

2日間の養成講座を修了した人を多摩川自然情報館ボランティア解説員として登録し、館内での解説やイベント対応等の活動をするもの

登録人数	延べ活動時間	養成講座修了者数	
34人	68時間	新規 1人	合計 35人

(3) 展示した内容

1	調布市で見られるセミのパネル1枚
2	セミのなが〜い一生のパネル1枚
3	バッタのひみつのパネル1枚
4	調布市で見られるバッタのなかま（その1・2）のパネル2枚
5	生態展示「おさかなコーナー」「こんちゅうコーナー」を設置し爬虫類・両生類及び甲殻類の展示や「調布市野草園内の小川にすむ生き物」展示
6	特定外来生物の展示（コクチバス）
7	昆虫・植物標本などの立体展示
8	調布市いきものフォトコンテスト 〜感じよう！生物多様性〜入賞作品展
9	市民から提供された情報等を展示（調布市で見られる鳥や植物等）
10	ボトルアクアリウム （多摩川の水草とヌマエビのなかまを瓶に入れ生態系を再現）
11	カブトムシの幼虫を展示
12	アメリカザリガニ・イシガメの展示
13	多摩川で見られる在来植物（オオイヌタデ・キンミズヒキ・クサヨシ・ケキツネノボタン・ゲンノショウコ・セリ・ナガエミクリ・ネジバナ・ヒメガマ・ミゾソバ・ミツバアケビ・ヤズソウなど）を鉢植え展示
14	調布市で見られるカメのパネル2枚
15	調布市内の多摩川で見られる魚類のパネル3枚
16	海洋プラスチックごみ問題を取り上げたパネル2枚
17	調布市内で見られる植物のパネル4枚
18	調布市内で見られる鳥類のパネル3枚
19	調布市内で見られるテントウムシのパネル2枚
20	多摩川上流に生息するニホンジカの角及びパネル2枚
21	黒化型のトノサマバッタ（市民寄贈）の生体及びパネル2枚

(4) 月替わりプログラム

開催月	プログラム名
令和2年4月 (中止※)	土の中の生き物を観察してみよう〜春〜
5月 (中止※)	多摩川にいる野鳥を観察しよう
6月 (中止※)	いきものプールの生き物観察と水質調査
7月	多摩川の植物で標本作り
8月	多摩川の昆虫で標本作り
9月	セミの抜け殻を見分けよう
10月	多摩川の植物遊び〜秋〜
11月 (中止※)	土の中の生き物を観察してみよう〜秋〜
12月 (中止※)	多摩川の魚でカードゲーム
令和3年1月 (中止※)	多摩川の生き物カルタ
2月	切り絵でロゼットを学ぼう

3月	多摩川の石を見分けよう
----	-------------

※ 新型コロナウイルスの影響に伴い中止

(5) 月別イベント

開催日	事業名	講師	参加者数(人)
令和2年 5月 (中止)	多摩川植物観察会	長岡聡子氏 (植物研究家)	※
6月 (中止)	全国一斉水質調査	委託先社員	※
7月25日	多摩川自然情報館ビンゴ探検	委託先社員	34
7月26日	多摩川の魚観察会	君塚芳輝氏 (淡水魚類研究家)	11
8月8日	多摩川の魚観察会	君塚芳輝氏 (淡水魚類研究家)	37
8月23日	虫採り名人と昆虫採集をしよう!	委託先社員	30
9月26日	多摩川こども探検隊	委託先社員	28
10月25日	多摩川植物観察会	委託先社員	11
12月 (中止)	見て、感じて、学ぶ! 市内の環境学習施設見学バスツアー	委託先社員・各施設職員	※
令和3年 2月 (中止)	野鳥写真家に学ぶ 多摩川の冬鳥の写真撮影のコツ	叶内拓哉氏 (野鳥写真家)	※
3月 (中止)	多摩川こども探検隊	委託先社員	※

※ 新型コロナウイルスの影響に伴い中止

(6) その他のイベント・連携事業

開催日	事業内容	参加者数(人)
令和2年 7月16日	富士見台小学校の環境学習 「多摩川の生き物を観察しよう」受入れ	76
9月13日	海ごみゼロウィーク 海ごみ問題について学ぼう	9
9月15日	杉森小学校の環境学習 「多摩川探検隊」受入れ	120
9月29日	杉森小学校の環境学習 「多摩川探検隊」受入れ	126
10月15日	富士見台小学校の環境学習 「多摩川自然情報館の見学」受入れ	82
10月22日	杉森小学校の環境学習 「多摩川探検隊」受入れ	123
募集期間 7月25日 ～11月30日	調布市いきものフォトコンテスト2020 ～感じよう生物多様性～	応募点数 60点
令和3年 3月9日	第八中学校の環境学習 「多摩川自然情報館の見学」受入れ	21

雨水を地下に浸透させ、地下水及び湧水の保全・回復を図るために、雨水浸透ますの設置を推進するもの

雨水浸透ます設置基数 4件 5基

14 河川水質等調査事業 予算科目(款・項・目) 20・05・15 [決算書253ページ]

河川環境の改善を図るため、水質等を調査するもの

(1) 河川水質調査項目数 (単位:項目)

調査日 地点		令和2年	7月16日	9月15日	11月5日	12月2日	令和3年
		6月11日					2月16日
多摩川	狛江市境	48			20		
	ワンド						
野川	橋場橋		14	14		14	14
	狛江市境	44		14	21		14
深大寺用水	野川流入前		12	9			
佐須用水	野川流入前		12	9			
	農場下		12	9			
仙川	東一の橋		14	14		14	14
	柳川橋	21		12	21		
府中用水	多摩川流入前	21			22		
入間川	都橋			9			
測定項目	生物化学的酸素要求量, 浮遊物質, 溶存酸素量, 水素イオン濃度, 大腸菌群数, 全窒素, 全リン, アンモニア性窒素, 亜硝酸性窒素, 硝酸性窒素, 電気伝導度等						

(2) 河川水生生物調査

水生生物から見る水質

水質	A:きれいな水域	B:わりあいきれいな水域	C:汚れている水域	D:とても汚れている水域
指標水生生物	カワゲラ類 サワガニ	スジエビ カワニナ	ヒル類 ミズムシ	イトミミズ 赤色ユスリカ

調査日	令和2年11月17日						
河川名	多摩川	仙川		野川		佐須用水	
地点	多摩川 狛江市境	東一の橋	柳川橋	橋場橋	狛江市境	野草園	野川手前
底生生物	A	B~C	C~D	A~B	A~B		A
付着藻類	B	B	B	B	B	B	B

15 大気汚染測定調査事業

予算科目(款・項・目) 20・05・15 [決算書253ページ]

大気汚染に係る市民の安心安全を図るため、調査するもの

(1) 大気汚染に係る環境基準

ア 一酸化炭素 1時間値の1日平均値が10ppm以下であり、かつ、1時間値の8時間平均値が20ppm以下であること。

イ 浮遊粒子状物質 1時間値の1日平均値が0.10mg/m<sup>3</sup>以下であり、かつ、1時間値が

0. 20 mg/m<sup>3</sup>以下であること。

ウ 二酸化窒素 1時間値の1日平均値が0.04 ppmから0.06 ppmまでの範囲内又はそれ以下であること。

エ 光化学オキシダント 1時間値が0.06 ppm以下であること。

オ 微小粒子状物質 (PM2.5) 1年平均値15 μg/m<sup>3</sup>以下であり、かつ、1日平均値が35 μg/m<sup>3</sup>以下であること。

(2) 測定結果

測定の種類	常時監視測定局 (固定式)		仮設測定局 (移動式)		
	測定地点名称	市役所 屋上	下石原 交差点前	多摩川1丁目 鶴川街道	つつじヶ丘 児童館
測定場所	小島町 2丁目35 番地1	富士見町 2丁目11 番地	多摩川 1丁目51番地	西つつじヶ丘 3丁目19番地 1	深大寺東町 5丁目14番地 1
測定期間	通年		令和3年 2月1日～ 9日	令和3年 2月9日～ 17日	令和3年 2月17日～ 25日

測定項目	環境基準を超過した日数 (日)				
	一酸化炭素 CO		0	0	0
浮遊粒子状物質 SPM	0	0	0	0	0
二酸化窒素 NO <sub>2</sub>	2	3	0	0	0
光化学オキシダ ント OX	86	82			
微小粒子状物質 PM2.5		0	0	0	0
年平均値					
窒素酸化物 NO <sub>x</sub> (ppm)	0.015	0.023	0.041	0.036	0.015
風速 (m/s)			1.6	2.8	2.4
温度 (°C)	16.6				
湿度 (%)	66				
年総量					
雨量 (mm)	1,221				

16 公害関係法律等に基づく事務事業

予算科目 (款・項・目) 20・05・15  
〔決算書253ページ〕

公害の発生を防止するため、各種届出の受理等を行うもの

- (1) 大気汚染防止法に基づく届出 (特定粉じん排出作業実施) 届出7件, 報告6件
- (2) 騒音規制法に基づく届出 特定施設1件, 特定建設作業等70件
- (3) 振動規制法に基づく届出 特定施設1件, 特定建設作業等56件
- (4) 都民の健康と安全を確保する環境に関する条例に基づく届出
  - ア 工場設置認可・変更認可等件数 設置認可1件, 変更認可0件
  - イ 指定作業場受付件数 設置7件, 変更等0件

ウ 各種届出

- (ア) 工場に関する届出 地下水揚水量15件, 氏名変更等10件
- (イ) 指定作業場等に関する届出 地下水揚水量18件, 氏名変更等3件
- (ウ) 石綿含有建築物解体工事計画届及び報告7件

(5) 公害に関する苦情受付件数 (単位: 件)

区分	大気	悪臭	汚水	騒音	振動	その他	合計
件数	20	21	0	61	17	0	119

(6) 光化学スモッグ発令回数及び被害者届出数

東京都による発令(中部地域)を市内各施設に連絡した。

学校情報(回)	注意報(回)	警報(回)	市内被害者数(人)
7	1	0	0

17 地下水汚染調査事業 予算科目(款・項・目) 20・05・15 [決算253ページ]

地下水の汚濁状況を監視するため, 井戸の水質を調査するもの

- (1) 調査項目 4項目(トリクロロエチレン, テトラクロロエチレン, 1,1,1-トリクロロエタン, 四塩化炭素)
- (2) 調査年月日 令和3年3月16日, 18日
- (3) 調査井戸 14本
- (4) 有機溶剤検出井戸 10本(うち, 環境基準不適合井戸 1本)
- (5) 不検出井戸 4本

18 地下水汚染浄化対策事業 予算科目(款・項・目) 20・05・15 [決算書253ページ]

地下水の改善を図るため, 多摩川3丁目市有地内の井戸水を浄化するもの

平成12年時点で環境基準の1,300倍だったテトラクロロエチレンの濃度は, 継続的な浄化の結果, 令和2年度は3.8倍(0.038mg/l)であった。

揚水原水濃度の推移(公定法)

(単位: mg/l)

		テトラクロロエチレン	トリクロロエチレン	シス-1,2ジクロロエチレン	クロロエチレン※
環境基準値 mg/l		0.01	0.03	0.04	0.002
平成30年度	平成31年3月20日	0.093	0.47	1.1	0.0011
令和元年度	令和2年3月10日	0.061	0.36	1.0	0.0010
令和2年度	令和3年3月9日	0.038	0.32	1.0	0.0011

※ 平成30年度から土壌汚染対策法運用指針の変更により調査項目に追加

19 自動車騒音常時監視事業 予算科目(款・項・目) 20・05・15

[決算253~255ページ]

道路周辺地域の環境改善を図るため, 市内の主要幹線道路を対象として, 面的評価支援システム(※)により, 自動車騒音を測定するもの

(1) 各区間の評価結果

道路名(通称)	評価区間番号	基準点騒音レベル	残留騒音レベル	達成率(%)	達成戸数(戸)	全戸数(戸)

名)		(デシベル) ※A								※B
		昼間	夜間	昼間	夜間	昼間	夜間	昼間	夜間	
一般国道20号	17010	71	67	46	36	94.7	92.2	6,216	6,048	6,561
大田調布線	40640	63	59	42	36	99.9	99.3	4,110	4,084	4,114
調布田無線	40680	59	54	35	34	100	100	717	717	717
調布田無線	40720	62	57	43	41	86.6	85.1	576	566	665
町田調布線	41180	64	58	42	39	99.6	99.3	1,331	1,327	1,336
武蔵野狛江線	60130	63	58	42	38	99.1	99.1	224	224	226
武蔵野狛江線	60140	67	65	41	39	100	98.5	685	675	685
武蔵野狛江線	60170	61	57	38	35	99.9	99.9	873	873	874
調布経堂停車場線	60240	65	58	49	40	99.9	99.9	784	784	785

※ 面的評価支援システム

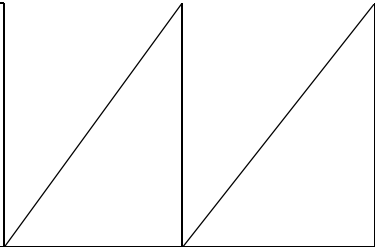
一定の住居範囲におけるある1点(※A)で測定した騒音から、当該居住範囲の全戸(※B)の騒音を推計する新たな騒音の計測方法をいう。

(2) 騒音・振動測定結果

(単位：デシベル)

測定地点		深大寺北町1丁目1番地4先	富士見町2丁目16番地33先	西つつじヶ丘3丁目19番地先	仙川町2丁目6番地5先	多摩川2丁目26番地先
路線名(通称名)		都道調布田無線(武蔵境通り)	都道調布田無線(武蔵境通り)	国道20号(甲州街道)	国道20号(甲州街道)	都道町田調布線(鶴川街道)
測定期間		令和3年1月14・15日				
騒音	騒音要請限度(主要幹線道路沿い)	昼 75 夜 70	昼 75 夜 70	昼 75 夜 70	昼 75 夜 70	昼 75 夜 70
	環境基準値	昼 70 夜 65	昼 70 夜 65	昼 70 夜 65	昼 70 夜 65	昼 70 夜 65
	騒音測定結果(等価騒音レベルの年平均値)	昼 59 夜 54	昼 62 夜 57	昼 71 夜 67	昼 72 夜 70	昼 64 夜 58
振動	振動要請限度	昼 65 夜 60	昼 65 夜 60	昼 65 夜 60	/	

振動調査結果 (等価振動レベルの 平均値)	昼夜	46	41	45
		40	38	40



## 20 放射線量測定事業

市民の不安の解消を図るため、放射性物質の測定を行うもの

### (1) 空間放射線簡易測定

#### ア 測定場所及び測定頻度

定点10施設について、毎月1回測定した。

1 上布田保育園	2 東部保育園	3 上石原保育園	4 第一小学校	5 北ノ台小学校
6 緑ヶ丘小学校	7 調布ヶ丘児童館	8 染地児童館	9 上布田公園	10 八雲台公園

#### イ 測定機器 ホリバ製PA-1000Radi

#### ウ 測定結果

全ての施設において、国の除染基準除染要件を超える数値は確認されなかった。

※ 環境省「放射性物質汚染対処特別措置法」に基づく除染関係ガイドライン（平成23年12月第1版）」で、除染要件を0.23  $\mu$ Sv/h以上（地表50～100cm）としている。

#### エ 測定結果の公表

定点10箇所については、市報及び市ホームページ、その他の施設については、市ホームページで公表した。

### (2) 空間放射線簡易測定器の貸出し

対象 自治会、地区協議会、各市民グループ等のほか、市民1人以上の希望者

#### ア 貸出機器及び台数 ホリバ製PA-1000Radi 2台

#### イ 利用条件 開庁日の午前9時から午後4時までの1日単位

※ 希望により複数日可。次の予約がなければ、貸出期間の延長可

#### ウ 利用数 0件

## 21 ISO14001事業 予算科目(款・項・目) 20・05・15 [決算書255ページ]

市を一事業所として環境管理システムの充実を図り、地球環境保全に向けた具体的行動の実践に努めるもの

### (1) 環境管理委員会の開催

副市長（環境担当）、環境管理責任者（環境部長）、実行部門長（各部の部長等）で構成する協議機関であり、定例会を3回開催した。

回	開催日	内容
第1回	令和2年 8月25日	1 令和元年度環境目標の達成状況一覧について（報告） 2 市長による見直しの結果について（報告） 3 令和2年度環境目標の達成状況について（報告） 4 地球温暖化対策実行計画（事務事業編）（報告） 5 令和2年度内部環境監査について（報告） 6 『CHOFU プラスチック・スマートアクション』取組状況について（報告）



		7 環境管理マニュアルの改訂について（付議）
第2回	令和2年 12月21日	1 令和2年度第2四半期環境目標の達成状況について（報告） 2 令和2年度内部環境監査について（報告） 3 地球温暖化対策実行計画（事務事業編）（報告） 4 電力調達の環境配慮について（報告）
第3回	令和3年 3月23日	1 令和3年度環境目標（案）について（付議） 2 調布市電力の調達に係る環境配慮方針（案）の制定について（付議） 3 令和2年度第3四半期環境目標の達成状況について（報告） 4 地球温暖化対策実行計画（事務事業編）（報告）

(2) 環境研修

対象者	開催日	受講者数 (人)	研修の内容
新規採用職員	令和2年4月2日	36	調布市のISO14001について
ISO担当者	令和2年5月1日	68	調布市環境マネジメントシステムについて（マニュアルの説明）
所属長以上の 管理職	令和2年6月30日	102	調布市環境マネジメントシステムについて
内部監査員	令和2年9月16日	8	調布市環境マネジメントシステム及び 内部環境監査手法について

(3) ちょうふISO譜°（ちょうふいそっぷ）

ISO14001に関することや環境施策に関する各種取組を市職員に周知するため発行した。また、市ホームページにも掲載した。

号	発行日	主な内容
98	令和2年4月27日	・海洋プラスチックごみ対策のための、『CHOFUプラスチック・スマートアクション』を開始します。 ・令和2年度の環境目標を決定しました ・環境目標（各課共通項目・管財課項目）
99	令和2年10月30日	・昨年度の取組実績を踏まえた令和2年度の『市長の指示事項』 ・環境目標（各課共通項目・管財課項目）
100	令和3年2月2日	・ちょうふISO譜°第100号を迎えました。 ・日頃の取組実績に係る令和2年度の『内部環境監査』の結果について ・環境目標（各課共通項目・管財課項目） ・東京都×調布市「みい電キャンペーン」

(4) 環境目標達成状況

対策	目標	結果	備考
第3次地球温暖化対策 実行計画（事務事業 編）の目標達成	平成26年度の総排出量 （14,859t-CO <sub>2</sub> ）を基 準として2.6%の削減 を行う。	未達成 15,444 t-CO <sub>2</sub>	基準値に対して 3.9%増加
環境確保条例に係る温 室効果ガス総量削減義 務制度対象施設の光熱 量に伴う温室効果ガス 排出量の削減	温室効果ガス総排出量 5,297t-CO <sub>2</sub> （基準値） から17%以上CO <sub>2</sub> を削 減する。	達成 3,828 t-CO <sub>2</sub>	基準値に対して 27.7%削減 ※暫定値（確定値は 令和2年度に行う検 証機関による検証の 認定を受けてから決 定）
グリーン購入の推進	グリーン購入率を 95%以上にする。	達成 96.1%	目標値に対して1.1 ポイント増加
本庁舎における電気使 用量の抑制	電気使用量が 1,148,439kWhを上回ら	未達成 1,205,254kWh	目標値に対して 4.9%増加

	ないようにする。		
本庁舎におけるガス使用量の抑制	ガス使用量が1,101m <sup>3</sup> を上回らないようにする。	達成 611m <sup>3</sup>	目標値に対して 44.5%削減
本庁舎における水道使用量の抑制	水道使用量が10,884m <sup>3</sup> を上回らないようにする。	達成 7,741m <sup>3</sup>	目標値に対して 28.9%削減
可燃物排出量の削減	可燃物排出量を89,513kg以下にする。	達成 81,057kg	目標値に対して 9.4%削減
資源化に適さない可燃物排出量の削減	資源化に適さない可燃物排出量を6,102kg以下にする。	未達成 11,321kg	目標値に対して 85.5%増加
不燃物排出量の削減	不燃物排出量を9,103kg以下にする。	未達成 10,159kg	目標値に対して 11.6%増加
資源化に適さない不燃物排出量の削減	資源化に適さない不燃物排出量を1,477kg以下にする。	未達成 3,174kg	目標値に対して 114.9%増加

## 22 畜犬登録等事務事業 予算科目(款・項・目) 20・05・15 [決算書255ページ]

狂犬病の予防等を図るため、犬の登録、鑑札の交付等を行うもの

### (1) 登録等の状況(総数)

- ア 新規登録 680件
- イ 鑑札再交付 99件
- ウ 鑑札無料交付 190件
- エ 転出149件, 死亡624件
- オ 注射済票交付 6,285件
- カ 注射済票再交付 14件

### (2) 狂犬病予防集合注射接種状況(年1回)

※ 新型コロナウイルスの影響に伴い中止

### (3) 犬の飼い方教室

※ 新型コロナウイルスの影響に伴い中止

## 23 シックハウス症候群対策事業 予算科目(款・項・目) 20・05・15 [決算書255ページ]

健康被害を防止するため、室内化学物質の放散に関する対策を実施するもの

### (1) 室内化学物質簡易測定事業

シックハウス症候群対策として、市民からの要望により民間住宅の簡易測定を実施するもの  
室内化学物質簡易測定件数 0件

### (2) 講演会

例年、シックハウス対策の基礎知識や重要性の習得のため、職員を対象とした有識者による講演会を実施しているが、令和2年度は新型コロナウイルスの影響に伴い実施を見合わせた。

## 24 空き地草刈り事業

空き地の適正化を図るため、所有者に代わり雑草等を除却するもの  
草刈り苦情等の処理状況 (単位: 件)

	民有地	公有地
委託処理	0	0
自主処理	15	0
合 計	15	0

## 25 屋外広告物関係事業

良好な景観の形成、公衆に対する危害の防止等を図るため、屋外広告物に規制を行うもの

### (1) 屋外広告物許可申請事務（調布市経由東京都許可分 歳入は東京都）

種類	申請件数	広告物の数	手数料算定数量	単価	小計
広告塔	10件	11基	230点（5㎡の個数）	3,220円	740,600円
広告板	118件	256基	552点（5㎡の個数）	3,220円	1,777,440円
合計	128件	267基			2,518,040円

### (2) 屋外広告物許可申請事務（調布市許可分）

広告物の種類	申請件数	広告物の数	手数料算定数量	単価	小計
広告板	111件	431基	620点（5㎡の個数）	3,220円	1,996,400円
立看板等	13件	74基	74点（立看板等の枚数）	450円	33,300円
広告旗	2件	10基	10点（広告旗の本数）	450円	4,500円
広告幕	2件	4基	4点（広告幕の張数）	990円	3,960円
合計	128件	519基			2,038,160円

### (3) 違反屋外広告物除却枚数

種類	事業	職員による 簡易除却	市民による 除却活動	合計
はり紙		1,422枚	1,264枚	2,686枚
はり札		260枚	0枚	260枚
立看板		0枚	0枚	0枚
その他		105枚	0枚	105枚
合計		1,787枚	1,264枚	3,051枚

## 26 公共工事環境配慮指針

調布市が行う公共工事における環境への配慮を推進することを目的に、一定規模以上の公共工事を対象に、計画段階から着実に環境配慮を行うため、環境配慮チェックシートにより供用開始段階まで進行管理をしていくもの

対象工事要件

区分	対象工事	面積	金額	備考
		どちらか一方に該当していれば対象		
土木工事	公園・緑地の整備	1,000㎡以上	1,000万円以上	補修工事及び施設の更新を除く
	下水道の整備		3,000万円以上	
	道路の新設・拡幅	幅員12m以上		
	道路の改修		3,000万円以上	
	駐輪場の整備	500㎡以上		
建築工事	新築、増築・改築 解体・撤去	500㎡以上	3,000万円以上	

	改修		5,000万円以上	
	その他工事（設備工事等）		5,000万円以上	

令和2年度対象工事件数 土木工事7件，建築工事19件，その他工事（設備工事等）3件